

2015年10月21日

本資料は10月21日にチューリッヒで発表されたメディアリリースの翻訳版です

クレディ・スイス 2015年第3四半期業績を発表

- ・ 公表コア税引前利益は8億6,100万CHF
- ・ 公表純利益は7億7,900万CHF
- ・ プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門及びインベストメント・バンキング部門の両部門の業績では低調な顧客活動と市況悪化の打撃を受ける
- ・ 新規純資産は164億CHFと堅調が続く
- ・ インベストメント・バンキング部門はレバレッジを大幅に削減、期末目標を前倒しで達成

クレディ・スイス・グループの2015年第3四半期の業績においては、前四半期に見られた、アジアと株式業務における堅調さや新規資産の堅調な増加というプラスの傾向と、債券販売及び取引業務を中心とした厳しい市場環境及び低調な顧客活動というネガティブなトレンドの両方が引き続き見られました。

最高経営責任者(CEO)のティージェン・ティアムは、次のように述べました。「第3四半期では厳しい市場環境が、当グループのインベストメント・バンキング部門及びプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門双方における顧客活動の停滞に繋がりました。これは、結果として利益の低下を招き、当グループの債券販売及び取引業務の業績に特に顕著に表れました。レバレッジ・エクスポージャーについては、インベストメント・バンキング部門への資本配分の削減を継続し、当四半期末時点で6,154億米ドルまで引き下げたため、2015年2月に発表した2015年末時点の数値目標を前倒しで達成できました。当グループのプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門については、堅調な新規純資産の流入がすべての地域で続き、順調に進展しました。これは、昨今の個人顧客が自身のポートフォリオについて慎重になりがちな厳しい市場環境の中にあっても、明るい材料といえます。投資運用一任契約の普及率は順調な拡大を続けています。コーポレート & インスティテューショナル・クライアント事業で当グループが達成した増収に加え、当グループのインベストメント・バンキングのアドバイザー事業における当グループの市場シェアも前四半期比で増加しており、クレディ・スイスの法人顧客及び起業家との強固な関係を裏付けています。」

また、今後の見通しについては次のように述べています。「第3四半期の、厳しい市場環境が顧客の発行及び取引活動に及ぼした悪影響は、今のところ10月も続いており、当グループのアジア事業及び持続的な純利息収入の増加による順調な業績を相殺しています。来月以降、当グループは本日発表した戦略の実行に重点的に取り組んでいきます。当グループの第3四半期の業績を通じて、収益の変動の抑制、及びインベストメント・バンキングの活動がよりプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の顧客のニーズに沿うように調整することを旨とした銀行の事業再編の必要性を再確認しました。本日発表した戦略及び組織構造の推進を通じて、当グループは高い収益性と資本の創出を伴う長期にわたる成長を引き続き目指します。」

主要コア業績ハイライト

	3Q15		期/期末 2Q15 3Q14		増減率(%) QoQ YoY		期/期末 9M15 9M14		増減率(%) YoY	
公表業績 (単位:表示がないものは百万 CHF)										
純収益	5,982	6,941	6,537	(14)	(8)	19,596	19,439			1
継続事業からの税引前利益	861	1,646	1,301	(48)	(34)	4,045	2,331			74
株主帰属純利益	779	1,051	1,025	(26)	(24)	2,884	1,184			144
自己資本利益率(%)	7.1	10.0	9.7	-	-	9.0	3.7			-

戦略的事業業績 (単位:表示がないものは百万 CHF)

純収益	5,623	6,758	6,287	(17)	(11)	18,971	19,126			(1)
継続事業からの税引前利益	826	1,812	1,622	(54)	(49)	4,460	5,341			(16)
株主帰属純利益	699	1,418	1,115	(51)	(37)	3,352	3,807			(12)
自己資本利益率(%)	6.6	13.9	11.0	-	-	10.8	12.7			-

非戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)

株主帰属純利益/(損失)	80	(367)	(90)	-	-	(468)	(2,623)			(82)
--------------	----	-------	------	---	---	-------	---------	--	--	------

注:上記コア業績には、重要な経済的持分を持たない非支配持分は含まれておりません

公表コア業績

- 株主帰属純利益は7億7,900万CHF

クレディ・スイス・グループの当四半期のコア税引前利益は8億6,100万CHFとなりましたが、これは主に厳しい市場環境によるインベストメント・バンキング部門の業績不振によるものです。株主帰属純利益は、前年同期比で24%減の7億7,900万CHFとなりました。株主帰属自己資本利益率は、前四半期から3ポイント減の7%となりました。

公表コア純収益は前年同期比で8%減となりました。インベストメント・バンキング部門及びプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の純収益低下は、コーポレート・センターの純収益の増加によって一部相殺されました。公表営業費用合計は前年同期から3%減となりました。インベストメント・バンキング部門における営業費用の削減がコーポレート・センター及びプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門における費用の増加により一部相殺されました。

非戦略的事業では、税引前利益が3,500万CHFとなり、前年同期の税引前損失3億2,100万CHFから改善しました。

戦略的事業コア業績—主要ハイライト

	3Q15		期/期末 2Q15 3Q14		増減率(%) QoQ YoY		期/期末 9M15 9M14		増減率(%) YoY	
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)										
継続事業からの税引前利益/(損失)	826	1,812	1,622	(54)	(49)	4,460	5,341			(16)
うちプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門	753	1,001	872	(25)	(14)	2,692	2,719			(1)
うちインベストメント・バンキング部門	282	910	995	(69)	(72)	2,307	3,165			(27)
うちコーポレート・センター部門	(209)	(99)	(245)	111	(15)	(539)	(543)			(1)

戦略的事業コア業績

- プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業は、低調な顧客活動と厳しい市場環境の打撃を受ける
- これらは、インベストメント・バンキング部門の戦略的事業にも同様に悪影響

当四半期における戦略的事業の税引前利益は8億2,600万CHFとなり、前年同期比で49%減となりました。戦略的事業の株主帰属純利益は、前年同期の11億1,500万CHFから37%減の6億9,900万CHFとなりました。当四半期における戦略的事業の自己資本利益率は7%となりました。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

	期/期末			増減率(%)		期/期末		
	3Q15	2Q15	3Q14	QoQ	YoY	9M15	9M14	増減率(%) YoY
公表業績 (単位:百万 CHF)								
純収益	2,935	3,152	3,125	(7)	(6)	9,059	9,411	(4)
貸倒引当金繰入額	80	44	25	82	220	153	81	89
従業員報酬及び給付費用	1,214	1,248	1,194	(3)	2	3,691	3,719	(1)
その他の営業費用合計	994	923	963	8	3	2,797	4,405	(37)
営業費用合計	2,208	2,171	2,157	2	2	6,488	8,124	(20)
税引前利益	647	937	943	(31)	(31)	2,418	1,206	100
指標(%)								
規制資本利益率	16.5	23.5	27.3	-	-	20.4	12.0	-
費用/収入比率	75.2	68.9	69.0	-	-	71.6	86.3	-
運用資産 (単位:十億 CHF)								
運用資産	1,293.9	1,355.7	1,366.1	(4.6)	(5.3)	1,293.9	1,366.1	(5.3)
新規純資産	16.4	14.2	7.4	15.5	121.6	47.6	31.2	52.6

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門-戦略的事業業績

	期/期末			増減率(%)		期/期末		
	3Q15	2Q15	3Q14	QoQ	YoY	9M15	9M14	増減率(%) YoY
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)								
純利息収入	1,137	1,096	968	4	17	3,214	2,885	11
経常手数料収益	1,047	1,082	1,149	(3)	(9)	3,196	3,424	(7)
トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益	750	925	827	(19)	(9)	2,597	2,611	(1)
その他の収益	(23)	(12)	(5)	92	360	(35)	(18)	94
純収益	2,911	3,091	2,939	(6)	(1)	8,972	8,902	1
貸倒引当金繰入額	76	31	26	145	192	132	73	81
営業費用合計	2,082	2,059	2,041	1	2	6,148	6,110	1
税引前利益	753	1,001	872	(25)	(14)	2,692	2,719	(1)
うちウェルス・マネジメント・クライアント事業	477	669	536	(29)	(11)	1,782	1,683	6
うちコーポレート&インスティテューショナル・クライアント事業	210	244	240	(14)	(13)	684	697	(2)
うちアセット・マネジメント事業	66	88	96	(25)	(31)	226	339	(33)
指標(%)								
規制資本利益率	19.7	25.8	26.7	-	-	23.3	28.7	-
費用/収入比率	71.5	66.6	69.4	-	-	68.5	68.6	-
新規純資産 (単位:十億 CHF)								
新規純資産	17.3	15.4	8.8	12.3	96.6	51.1	36.6	39.6

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門: すべての地域からの堅調な純資産流入

- ・ プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門は、ウェルス・マネジメント・クライアント事業とコーポレート&インスティテューショナル・クライアント事業の堅調な貢献により、前年同期比で安定した戦略的事業の純収益を計上
- ・ 新規純資産の総額は 164 億 CHF

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の当四半期における純収益は 29 億 3,500 万 CHF、税引前利益は 6 億 4,700 万 CHF となりました。プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業は、主にコーポレート&インスティテューショナル・クライアント事業では前年同期比で貸倒引当金の積み増しと費用の微増があったものの、7 億 5,300 万 CHF の税引前利益と 29 億 1,100 万 CHF の安定した純収益を計上しました。主に、クレジットカード発行事業の連結除外(後述の「事業展開」セクション参照)と、トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の減少を原因とする手数料収益の低

下がりましたが、これは純利息収入の増加により相殺されたため、戦略的事業の純収益は横ばいでした。戦略的事業の資本利益率は20%であり、費用／収入比率は72%に増加しました。

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の当四半期の戦略的事業における新規純資産は173億CHF、新規純資産は164億CHFを計上しました。ウェルス・マネジメント・クライアント事業は、すべての地域において成長し、またすべての顧客セグメントがバランス良く貢献した結果、105億CHFの新規純資産を獲得しました。加えて、ウェルス・マネジメント・クライアント事業の投資運用一任契約の普及率は、「クレディ・スイス・インベスト」の販売の好調な動きを反映し、2014年末時点の17%から当四半期末時点では21%まで増加しました。当四半期末時点のプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の運用資産は、主に厳しい市場環境及び新たな運用資産管理規程の導入によって、前四半期末から618億CHF減の1兆2,939億CHFとなりました。

2015年7月1日付けで、クレディ・スイス・グループは、顧客資産を運用資産とみなすか否かを評価するためのより具体的な基準及び指標を導入することを主な目的として、運用資産管理規程を改定しました。この新たな規程の導入により、464億CHFの運用資産が顧客資産に再分類されることとなりましたが、これは当四半期に構造的影響として反映されたものです。再分類された464億CHFの資産のうち、381億CHFがウェルス・マネジメント・クライアント事業、83億CHFがコーポレート & インスティテュショナル・クライアント事業の運用資産でした。

ウェルス・マネジメント・クライアント事業のネット・マージンは23ベース・ポイント(bp)となり、前年同期比で2bp下落しましたが、これは、両四半期ともに訴訟引当金の積み増しが主な要因です。前四半期と比較すると、ネット・マージンは8bp下落しました。低調なトランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益、訴訟引当金の積み増し並びに経常手数料収益の減少が、運用資産の減少と純利息収入の増加により一部相殺されています。

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門のリスク加重資産は、主としてポジティブな為替動向、リスク加重資産算出モデルの改正及び手法の変更により当四半期で26億CHF増加し1,083億CHFとなり、レバレッジ・エクスポージャーは72億CHF減少して3,730億CHFとなりました。当四半期末現在、プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の非戦略的事業では、リスク加重資産は44億CHF、レバレッジ・エクスポージャーは39億CHFとなり、前四半期末と比較し、いずれもほぼ横ばいでした。

非戦略的事業では、1億600万CHFの税引前損失を計上しました。これに対し前年同期では、クレディ・スイス・グループにおけるドイツ国内のプライベート・バンキング事業の売却益が含まれていたため、7,100万CHFの税引前利益を計上していました。米国のクロスボーダー案件をめぐる米国当局との和解に関連する6,800万CHFの費用を含め、営業費用は1億2,600万CHFでした。

事業展開:

2015年7月1日、クレディ・スイス・グループは、クレジットカード発行事業を、当グループが重要な持分を有するスイスカード (Swisscard AECS GmbH) に譲渡しました。この譲渡の結果、以前より保有していたクレジットカード発行事業に対する非支配持分も含め、クレジットカード発行事業は2015年7月1日以降連結除外となりました。そのため、クレジットカード発行事業からの利益／収益及び費用は、当グループの連結財務諸表又はプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門内のウェルス・マネジメント・クライアント事業の実績に完全には反映されません。その代わりに、当グループが持分法によりスイスカードから得られる純利益は、これら3つすべての純収益において計上されます。同時に、連結除外により、当グループの非支配持分に帰属する純利益は減少します。スイスカードは、当グループの持分法適用投資であり続けるため、連結除外が当グループの株主帰属純利益(損失)に与える複合的な影響は軽微であると見込まれます。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門

			期／期末	増減率(%)				増減率(%)
	3Q15	2Q15	3Q14	QoQ	YoY	9M15	9M14	YoY
公表業績 (単位:百万 CHF)								
純収益	2,356	3,381	3,303	(30)	(29)	9,320	10,061	(7)
貸倒引当金繰入額	30	7	36	329	(17)	38	31	23
従業員報酬及び給付費用	1,159	1,545	1,450	(25)	(20)	4,256	4,470	(5)
その他の営業費用合計	1,292	1,214	1,301	6	(1)	3,591	3,465	4
営業費用合計	2,451	2,759	2,751	(11)	(11)	7,847	7,935	(1)
税引前利益／(損失)	(125)	615	516	-	-	1,435	2,095	(32)
指標(%)								
規制資本利益率	-	9.9	8.3	-	-	7.7	11.4	-
費用／収入比率	104.0	81.6	83.3	-	-	84.2	78.9	-

インベストメント・バンキング部門－戦略的事業業績

			期／期末	増減率(%)				増減率(%)
	3Q15	2Q15	3Q14	QoQ	YoY	9M15	9M14	YoY
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)								
債券引受業務	326	467	519	(30)	(37)	1,125	1,470	(23)
株式引受業務	117	240	214	(51)	(45)	510	665	(23)
引受業務合計	443	707	733	(37)	(40)	1,635	2,135	(23)
アドバイザー及びその他の報酬	192	207	170	(7)	13	531	511	4
引受及びアドバイザー合計	635	914	903	(31)	(30)	2,166	2,646	(18)
債券販売及び取引	888	1,393	1,544	(36)	(42)	4,005	4,587	(13)
株式販売及び取引	1,201	1,320	1,069	(9)	12	3,865	3,394	14
販売及び取引合計	2,089	2,713	2,613	(23)	(20)	7,870	7,981	(1)
その他	(103)	(78)	(97)	32	6	(240)	(288)	(17)
純収益	2,621	3,549	3,419	(26)	(23)	9,796	10,339	(5)
貸倒引当金繰入額	15	7	29	114	(48)	23	24	(4)
営業費用合計	2,324	2,632	2,395	(12)	(3)	7,466	7,150	4
税引前利益	282	910	995	(69)	(72)	2,307	3,165	(27)
指標(%)								
規制資本利益率	4.8	15.6	17.1	-	-	13.1	18.9	-
費用／収入比率	88.7	74.2	70.0	-	-	76.2	69.2	-

インベストメント・バンキング部門：レバレッジ・エクスポージャーの大幅な削減

- 底堅い株式業務の業績を、顧客活動の縮小をもたらした厳しい市場環境による債券業務及び引受業務の大幅な業績悪化が相殺

インベストメント・バンキング部門の当四半期の公表純収益は23億5,600万CHF、税引前損失は1億2,500万CHFとなりました。前年同期から収益は29%減少しました。これは、株式業務における業績は好調でしたが、債券業務及び引受業務における業績がより大きく悪化したことが反映されています。インベストメント・バンキング部門の営業費用合計は当四半期中に11%の減少となりました。

戦略的事業では、インベストメント・バンキング部門の公表税引前利益が2億8,200万CHF、純収益が26億2,100万CHFでした。極めて大きな顧客取引によって、例外的に好調だった前年同期と比較すると、戦略的事業の収益は23%減少しました。これは、債券販売及び取引並びに債券引受業務における顧客活動の低迷をもたらした当四半期の厳しい市場環境によるものです。債券販売及び取引業務の収益は、好調だった前年同期と比較して大幅に低下しました。これは、当四半期の低調な顧客

活動をもたらした信用市場のボラティリティが大きかったことによるものです。株式販売及び取引業務の業績は改善しました。これは、市場におけるボラティリティの高まりが取引量を押し上げたためです。

引受及びアドバイザリー業務の業績は低下しました。これは、好調なアドバイザリーの業績が、業界全体にわたる引受活動の低迷によって悪化した株式及び債券の引受事業の減少を補いきれませんでした。前年同期と比較すると、戦略的事業における営業費用合計は3%の減少となりました。変動報酬費用の減少が、1億2,800万CHFのCDS訴訟に関する和解金を含む訴訟費用の増加やリスク、規制及びコンプライアンスに関するインフラ投資の増加を上回りました。

インベストメント・バンキング部門におけるレバレッジ・エクスポージャーの削減には、大きな進展がありました。インベストメント・バンキング部門は、当四半期に、レバレッジ・エクスポージャーを599億米ドル削減し、6,154億米ドルまで引き下げました。2015年末時点の部門目標である6,000億～6,200億米ドルを前倒して達成したことになります。当四半期末現在、インベストメント・バンキング部門におけるリスク加重資産は1,643億米ドルとなり、前四半期末比で26億米ドル減少しました。

インベストメント・バンキング部門の当四半期の非戦略的事業は、税引前損失が4億700万CHF、純収益が2億6,500万CHFのマイナスとなりました。前年同期比では、純収益のマイナス額は拡大しましたが、訴訟関連費用引当金の減少により営業費用合計は減少しました。

資本、レバレッジ及び費用

資本・レバレッジ指標

期末現在	段階的实施			ルックスルー		
	3Q15	2Q15	4Q14	3Q15	2Q15	4Q14
BIS 基準資本比率(%)						
CET1 比率	14.0	13.9	14.9	10.2	10.3	10.1
ティア 1 比率	16.8	16.7	17.1	14.3	14.3	14.0
自己資本比率	20.1	20.1	20.8	16.7	16.6	16.5
レバレッジ指標(表示がないものは%)						
レバレッジ・エクスポージャー(十億 CHF)	1,050.7	1,067.4	1,157.6	1,044.9	1,061.8	1,149.7
BIS CET1 レバレッジ比率	3.9	3.7	3.7	2.8	2.7	2.5
BIS ティア 1 レバレッジ比率	4.6	4.4	4.3	3.9	3.7	3.5
スイス国内レバレッジ比率	5.5	5.3	5.2	4.5	4.3	4.1

レバレッジのさらなる削減

- ・ レバレッジ・エクスポージャー削減における持続的な進捗
- ・ ルックスルーCET1 比率は 10.2%

近年、規制当局は、より制約の多いレバレッジ要件に見られる規制資本における非加重資産にますますその重点を置くようになってきています。クレディ・スイス・グループは、これらの一段と厳格な要件を遵守するために、レバレッジ・エクスポージャーを大幅に削減する計画を策定しました。

当四半期中に、クレディ・スイス・グループは、ルックスルーのレバレッジ・エクスポージャーを更に2%削減し、1兆449億CHFまで引き下げました。当四半期末時点のルックスルーのスイス国内レバレッジ比率は4.5%、ルックスルーのBISティア1レバレッジ比率は3.9%で、そのうちCET1部分は2.8%でした。

銀行の資本状況を見る上でもう一つの重要な指標は、ルックスルーのCET1比率であり、これは2019年要件を完全に適用したものです。当四半期末時点のクレディ・スイス・グループのルックスルーCET1比率は10.2%で、前四半期末時点の10.3%からわずかに低下しました。これは、リスク加重資産算出モデル改正及び手法変更により、ウェルス・マネジメント・クライアント事業で、リスク加重資産が増加したことによるものです。

配当政策

本日の戦略に関する発表のとおり、クレディ・スイス・グループは配当政策の継続を計画しています。この配当政策は、1株当たり最低0.70CHF、又は本日発表された新たな主要業績評価指標(KPI)の一部であるオペレーティング・フリー・キャピタルについて過去5年間の累積金額の最低40%以上の配当支払いを目標とするものです。クレディ・スイス・グループは、資本及びレバレッジ目標を達成した時点で、株式配当選択権を段階的に廃止する予定です。これは、遅くとも、より明確な資本ルールが判明する2017年までには実現する予定です。(更に詳細な情報は、2015年10月21日の戦略発表をご参照ください。)